

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.56	02	市民の広場	10
今号の表紙	03	きらめけ! えびなっ子	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
新型コロナウイルス		相談	13
感染症関連情報	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日・時・日にち 期 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

50 市制施行50周年記念プラス1事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



何度も頑張って書き直しました。
 中新田小学校 関根竜一良さん(10歳)

写真

タイトル：田んぼとサギ
 撮影場所：大谷北付近
 撮影者：大谷北在住
 上別府めぐみさん



編集雑記

青色・白色・緑色。真夏の海老名の風景が織りなす色からは、元気にも安らぐ気持ちにもなるすがすがしい感覚が湧いてきます。私にとっては海老名に欠かせないイメージカラーの一つ。人にもよりますが、色は人の心に同じような印象や効果を与えるといわれています。皆さんにとっての海老名は何色でしょうか。(あ)



地域とつながり、子どもの未来を育む

「退職後には生まれ育った海老名で地域活動に尽くすと決めていました」と話す曾我さんは警視庁の元警察官。退職からこれまでの約10年間、地域の活動に積極的に参加してきました。自治会などの旗振り役も担い、これまでの距離を埋めるかのようにつながりを築いてきました。

5年程前からは子どもとの交流も多くなり、最近では児童向けのキャリア教育で、さまざまな職業の人を講師に招く段取りをしています。「警察官時代に小学校で行った交通安全教室のことを思い出しました。子どもたちとの交流は、私自身のエネルギーになっていると感じます」。曾我さんも講師として警察官の頃の経験を子どもたちに披露しました。「その時にもらった感想文は宝物。子どもたちの将来の役に立てばうれしいですね」と目を細めます。

「地域のために」という熱意を胸に、子どもたちの未来を優しく見つめています。



キャリア教育の講師はジャンルの隔てなく、多様な職業に子どもたちも興味津々

趣味の庭の手入れを、仕事にも生かしている

今月のえび人

そがはるお
 曾我治夫さん
 (今里在住・71歳)

社家小学校運営協議会と同校応援団運営委員会の委員長。趣味を生かしてシルバー人材センター植木グループで活動。同センターの理事を務める。今里のはやし連にも所属。